

学校施設の更新にかかる財政シミュレーション

1. 学校再編に係る想定【初期費用（全体）】

旭市学校再編基本方針 【小学校】15校 → 7校 【中学校】5校 → 3校

統合校の位置は、既存の施設を活用していくほか、（仮称）北統合中学校については新築することとしている。

以上から、学校再編に係る想定初期費用（全体）：約215億円 ※内訳は①～③のとおり

- ①既存の学校を改修費用 : 135億円（1校あたり約15億円×9校）
- ②（仮称）北統合中学校の建設費用 : 60億円
- ③廃校となる学校の転用費用など : 20億円（1校あたり約2億円×10校）

2. （仮称）海上地域小学校の財政シミュレーション（2060年まで）

①嚶鳴小学校を活用

【初期費用：15.0億円】

総額：51.0億円



校舎		
年度	工事種別	金額
2030	普通・特別教室棟（統合改修）	13.0億円
2030	屋外環境整備（グラウンド・外構など）	1.0億円
2050	特別教室棟（大規模改造）	3.4億円
2056	普通教室棟（改築）	29.6億円
合計		47.0億円

体育館		
年度	工事種別	金額
2030	屋内運動場（空調）	1.0億円
2050	屋内運動場（大規模改造）	3.0億円
合計		4.0億円

②旧海上中学校跡地を活用

【初期費用：56.0億円】

総額：72.3億円



校舎		
年度	工事種別	金額
2030	普通・特別教室棟（新築）	40.0億円
2030	校庭・外構・道路整備等	6.0億円
2050	普通・特別教室棟（大規模改造）	13.0億円
合計		59.0億円

体育館		
年度	工事種別	金額
2030	屋内運動場（新築）	10.0億円
2050	屋内運動場（大規模改造）	3.3億円
合計		13.3億円

③2校先行統合の場合（2050年に3校統合）【初期費用：9.9億円】

総額：57.1億円



校舎		
年度	工事種別	金額
2036	普通教室棟（大規模改造）	7.7億円
2034	特別教室棟（長寿命化）	2.9億円
2050	特別教室棟（統合改修）	2.6億円
2050	普通教室棟（統合・改築）	23.6億円
2050	屋外環境整備（グラウンド・外構など）	1.0億円
合計		37.8億円

体育館		
年度	工事種別	金額
2025	屋内運動場（長寿命化）	3.2億円
2045	屋内運動場（大規模改造）	3.0億円
合計		6.2億円



校舎		
年度	工事種別	金額
2030	普通・特別教室棟（統合改修）	7.9億円
2030	屋外環境整備（グラウンド・外構など）	1.0億円
合計		8.9億円

体育館		
年度	工事種別	金額
2030	屋内運動場（空調）	1.0億円
2033	屋内運動場（長寿命化）	3.2億円
合計		4.2億円

【仮定】2030年2校統合・鶴巻小を活用 → 2050年3校統合・嚶鳴小を活用

【その他経費】

- ・光熱水費（令和5年度 3校平均）：1校あたり年間約300万円
- ・スクールバスの運営費（統合した場合）：1台あたり年間約1,000万円

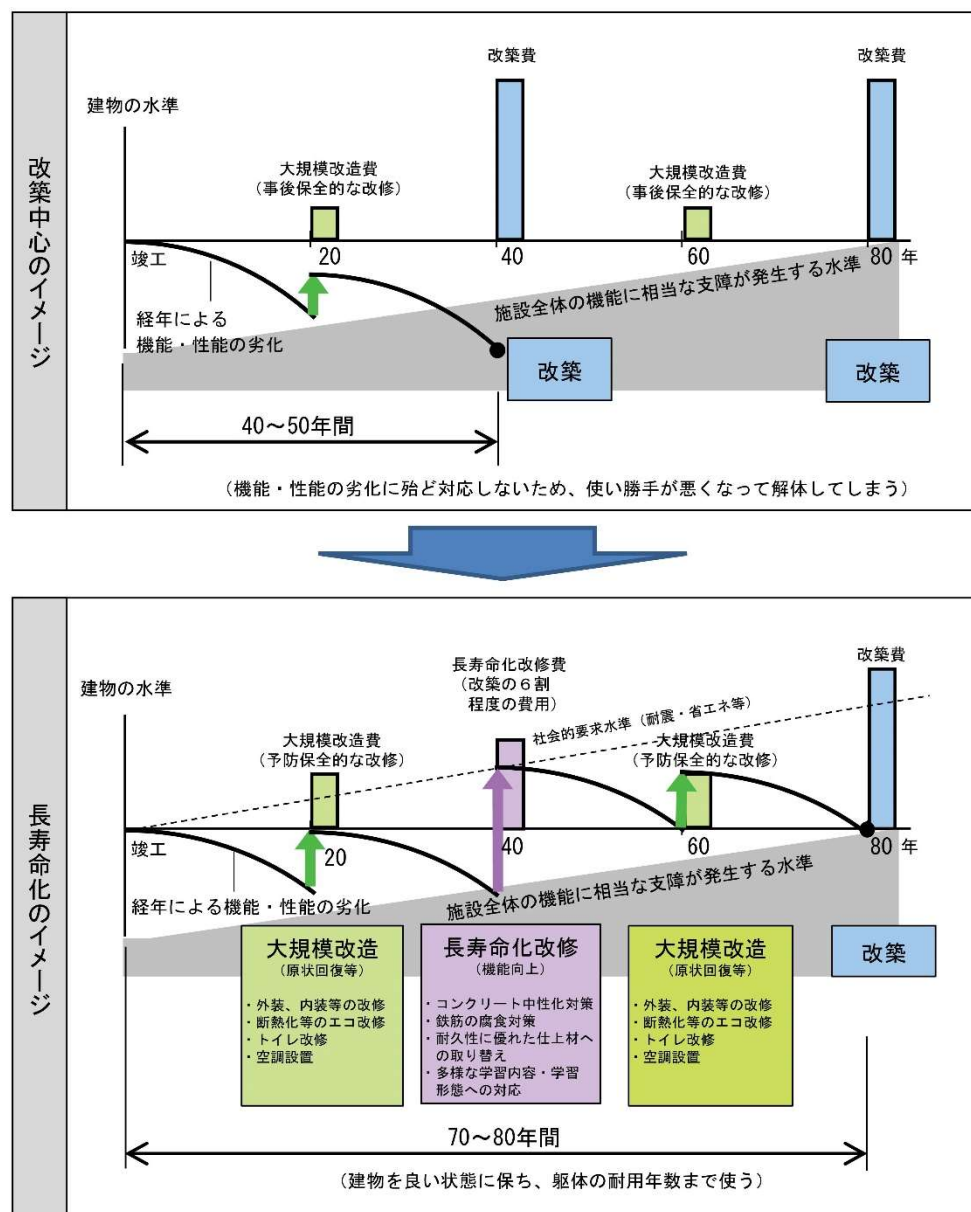
【参考】学校施設の長寿命化（文部科学省「長寿命化計画策定の手引き」引用）

学校施設は昭和40～50年代に建てられたものが多く、老朽化が進んでおり、子どもたちの安全確保、避難所などの地域の防災拠点の機能確保が求められている。

その反面、財政規模が縮小傾向にあるため、従来型の築40～50年での改築から、定期的な改修や長寿命化工事により80年間使用する長寿命化型へシフトしていくことでトータルコストの縮減や予算の平準化を図ることを目的としている

※法定耐用年数：鉄筋コンクリート造（学校施設） 47年 （減価償却資産の耐用年数等に関する省令）

※物理的な耐用年数：鉄筋コンクリート造（学校施設） 50～80年 （建築物の耐久計画に関する考え方）



図：改築中心から長寿命化への転換イメージ

嚶鳴小の駐車場について

嚶鳴小（児童数：383 人、敷地面積：18,231 m²、保護者用駐車台数：27 台）

①雨天時の状況

- ・ 徒歩で通学する児童もいるが、保護者の送迎も多い。
- ・ 保護者の送迎車は体育館西側の駐車場（黄枠）または正門東側の私有地（赤枠）に停車。
- ・ 総堀線で一時的に混雑が発生。
- ・ 下校時には駐車できない車も一部発生している。
- ・ 荒天時はグラウンドを使用する場合もある。

②イベント時の状況

- ・ 正門東側の私有地（赤枠箇所）を借用（約 60 台、距離：150m）
- ・ 運動会の際はうななみ幼稚園の駐車場も借用（約 30 台、距離：400m）
- ・ 学校公開等でグラウンドを使用する場合もある。



【参考】

中央小（児童数：623 人、敷地面積：21,720 m²、保護者用駐車台数：5 台）

①雨天時の状況

- ・ 送迎用の駐車場はなく、周辺道路の混雑も見られない。

②イベント時の状況

- ・ 商工会駐車場（約 50 台、距離：380m）、文化の杜駐車場（約 200 台、距離：530m）を借用。

千潟小（児童数：267 人、敷地面積：21,176 m²、保護者用駐車台数：50 台）

①雨天時の状況

- ・ 敷地内の駐車場または正門前の借地（約 10 台）に停車。
- ・ 周辺道路はやや混雑が発生。

②イベント時の状況

- ・ プール西側の芝生エリアを使用して合計 100 台程度の駐車が可能。敷地内で何とか運用している。

【前回の委員意見に対する市の見解】

- ・ 鶴巻と滝郷では保護者が送迎している児童が多い。スクールバスが出ても雨が降っていたら多分使わないと思うので、車で来た時のことまで考えてもらいたい。

⇒鶴巻と滝郷の児童は基本的にはスクールバスの活用を想定している。自家用車での送迎を前提としてその分の駐車場を確保することは難しいと考える。※旧海上中跡地においても同様

（スクールバスは各学区2ルート、1ルート当たりのバス停2～3箇所を想定 ※ひかた椿小の事例）

- ・ 入学式、卒業式、運動会を考えた時に駐車場が足りないと思う。

⇒入学式、卒業式の時はグラウンドに駐車が可能。

運動会の際は保護者は海上公民館等に駐車し、スクールバスで送迎するなどの運用を検討していく。

- ・ どの程度用地買収が可能なのか。

⇒現時点では土地利用の詳細計画や所有者の都合もあるため、必要に応じて検討していく。

- ・ 嚶鳴小が狭いと言っているが、どこが狭いのか疑問に思う。

⇒校舎については、増築により統合後の児童数に応じた教室数を確保していく。

駐車場台数についての基準はなく、学校によって確保している台数は様々。プールを解体して駐車場を増設するなどの整備をした上で、状況に応じた運用を検討していく。

(仮称) 東統合中学校について

海上中と飯岡中を統合し、海上中を統合校として検討

1. 統合先の選定理由

どちらの校舎も耐用年数に問題はないが、立地を比較した場合、統合学区のバランスが取りやすいことや、飯岡海上連絡道が完成すると飯岡地域からのアクセス性が高くなるため、海上中を利用。

2. 保護者アンケート結果（抜粋）

募集期間：令和6年2月1日（木）～2月29日（木）

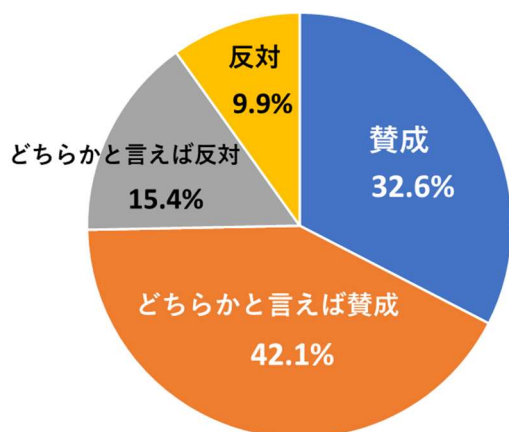
対象者：海上中・飯岡中・鶴巻小・滝郷小・嚶鳴小・三川小・飯岡小及び未就学児施設の保護者

アンケート回答結果

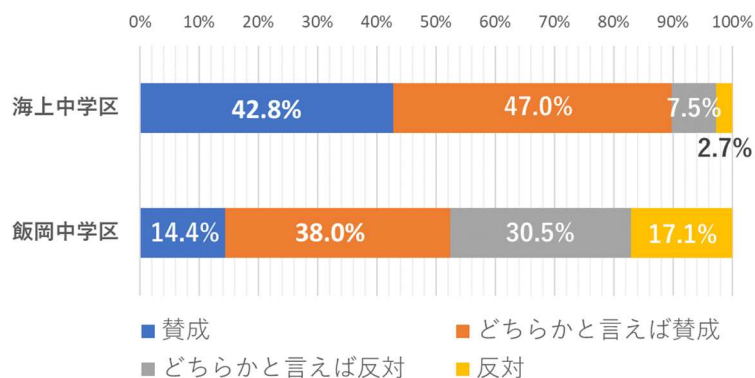
名 称	回答数
海上中学区【海上中・鶴巻小・滝郷小・嚶鳴小】	334
飯岡中学区【飯岡中・三川小・飯岡小】	187
未就学児のみ家庭	56
	577

1. 中学校再編についてどう思いますか。

【全体】



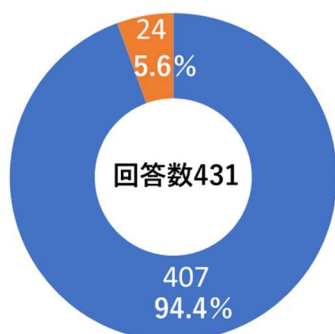
【中学校区別】



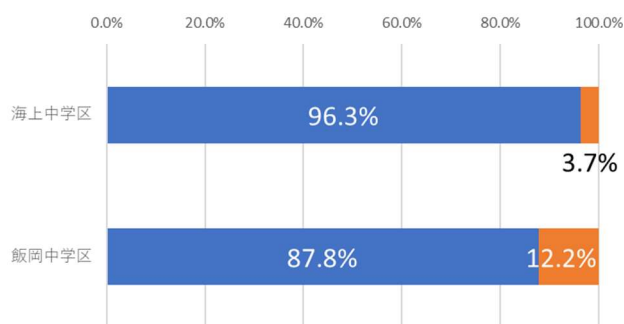
	全体(未就学含む)					
	海上中学区		飯岡中学区			
賛成	188	32.6%	143	42.8%	27	14.4%
どちらかと言えば賛成	243	42.1%	157	47.0%	71	38.0%
どちらかと言えば反対	89	15.4%	25	7.5%	57	30.5%
反対	57	9.9%	9	2.7%	32	17.1%
合計	577	100.0%	334	100.0%	187	100.0%

4. 統合先について、海上中学校の利用を検討しています。このことについてどう思いますか。
※問1で「賛成」または「どちらかと言えば賛成」と回答した方がのみが回答

【全体】



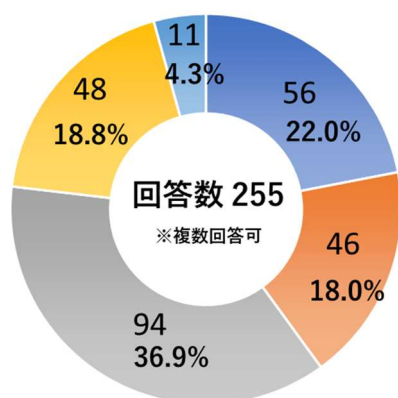
【中学校区別】



■ 海上中学校の利用に賛成 ■ その他

	全体(未就学含む)					
	海上中学区		飯岡中学区			
海上中学校の利用に賛成	407	94.4%	289	96.3%	86	87.8%
その他	24	5.6%	11	3.7%	12	12.2%
合計	431	100.0%	300	100.0%	98	100.0%

6. 「反対」または「どちらかと言えば反対」と回答した理由を教えてください。



- 今の学校規模で満足している
- 多人数の学校生活が不安
- 学校が遠くなり不便になる
- 地域に学校を残したい
- その他

今の学校規模で満足している	56	22.0%
多人数の学校生活が不安	46	18.0%
学校が遠くなり不便になる	94	36.9%
地域に学校を残したい	48	18.8%
その他	11	4.3%
合計	255	100.0%

3. 令和6年度生徒数

海上中学校 261名、普通学級数 9学級

飯岡中学校 183名、普通学級数 6学級

(参考) 干潟中学校 148名、普通学級数 6学級

4. 地域検討会議の設置時期

令和10年度～12年度

採決について

○学校再編代表者会議条例 第7条第3項

会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、第4条第1号及び第2号に掲げる事項に係る議事は、出席委員の3分の2以上で決するものとする。

【議案第2号の採決について】

- ・採決は投票用紙を使って実施。

「嚶鳴小」または「旧海上中跡地」のそれぞれに対して「賛成」か「反対」を判断する。

- ・どちらも「賛成」が3分の2を超えた場合は、どちらの候補地も賛成として答申する。
- ・どちらも「賛成」が3分の2に達しなかった場合は、どちらの候補地も反対として答申する。

その後、教育委員会から諮問事項⑤「今後の方向性について」諮問し、別の方向性を検討してもらう。

(例)先に鶴巻・滝郷の2校で統合し、将来的に嚶鳴と統合する など

- ・答申を踏まえて、教育委員会が内容を決定。答申の内容は最大限尊重するが、財政面等からすぐに実施することができない場合もある。
- ・統合校の位置についての最終的な決定は市議会の議決。(小学校設置条例の改正)

投票用紙サンプル

(仮称)海上地域小学校学校再編代表者会議 投票用紙		議案第2号 統合校の位置
下記の候補地に賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」を記入してください。		
嚶鳴小学校	旧海上中学校跡地	
委員氏名: _____		

【委員提案】保護者アンケートの実施について

- ・アンケート調査を実施したい場合、実施者は代表者会議となるため、会議の中で諮る。
- ・実施する場合、以下の内容について検討が必要
 - ①アンケートの目的
 - ②アンケートの内容
 - ③アンケートの対象範囲
 - ④アンケート結果の取り扱い(どの程度尊重するか、学区ごとの対象者数の不均衡をどう扱うか)